

令和4年2月21日  
令和3年度大阪府障がい者自立支援協議会  
障がい者虐待防止推進部会

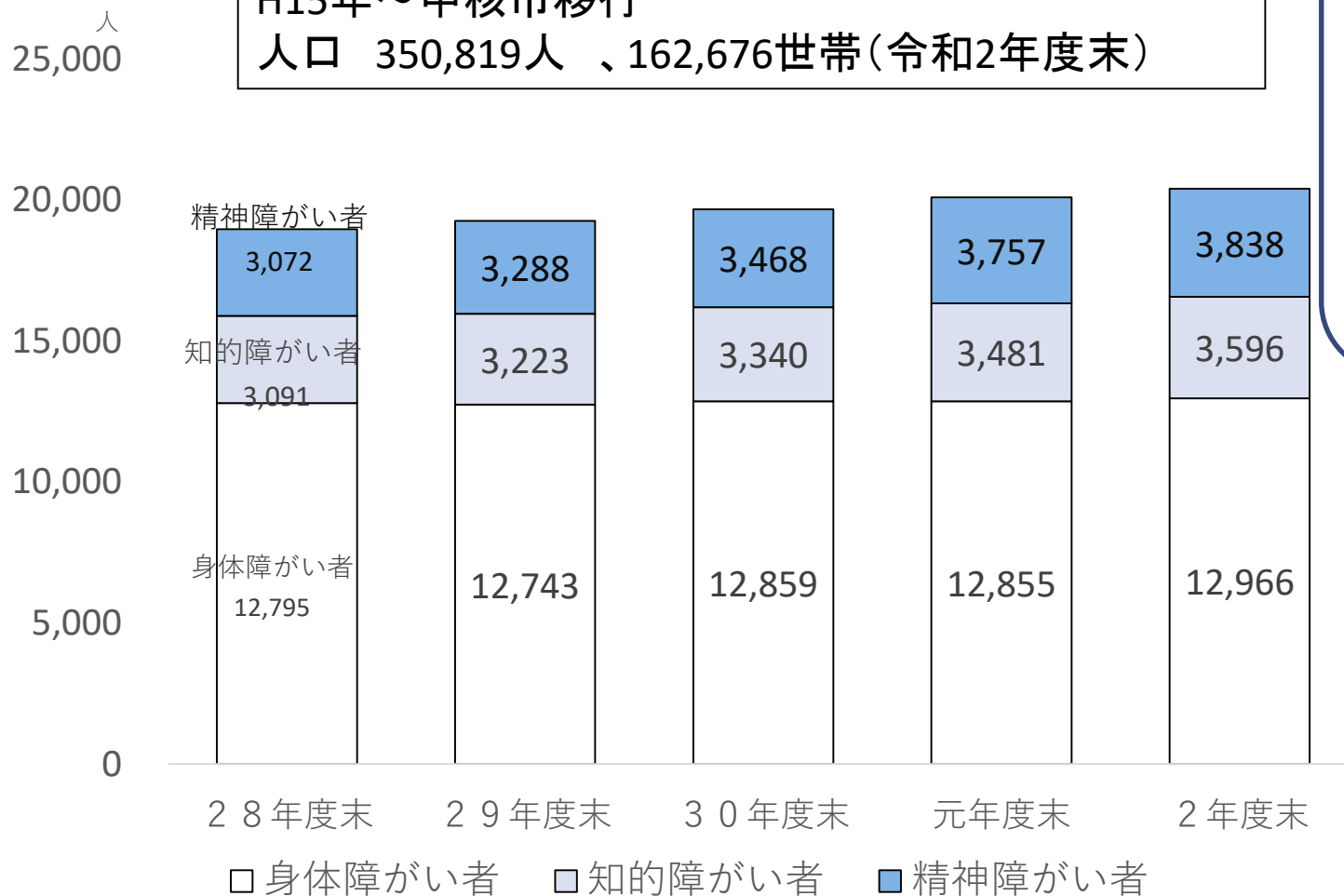
# 高槻市における 障がい者虐待防止の取組について

高槻市 健康福祉部 福祉事務所  
福祉相談支援課

# 高槻市の状況

H15年～中核市移行

人口 350,819人 、162,676世帯(令和2年度末)



令和2年度  
 身体障がい者  
 12,966人  
 知的障がい者  
 3,596人  
 精神障がい者  
 3,838人  
 (自立支援医療  
 /精神通院6,723)

# 高槻市障がい者虐待防止センター

◆設置年度 H24年10月

◆担当 福祉相談支援課 障がい者支援チーム

立ち上げ当初は障がい福祉課

◆構成員 課長、課長代理、主査(TL)、一般職4名

うち保健師 2名、社会福祉士3名

◆主な虐待関連事業

家庭訪問等個別支援事業

緊急時居室確保事業(緊急一時保護)

専門職相談(弁護士会・社会福祉士会)

## 令和2年度 障がい者虐待の通報件数と認定件数

	養護者	施設従事者	使用者	合計
通報・相談	65	19	3	87
認定	11	6	—	16

### 養護者虐待事案 ≪虐待認定事案の被虐待者について≫

虐待の類型(重複有)

経済的虐待	身体的虐待	心理的虐待	ネグレクト	性的虐待
0	5	5	1	1

障がい種別(重複有)

身体	知的	精神	その他
0	3	9	0

性別

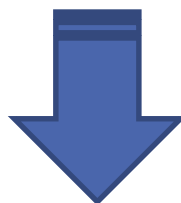
男性	女性
0	11

**3**

# 虐待防止にかかる取組

平成24年  
障害者虐待防止法 施行

高槻市  
障がい者虐待防止連絡会議



参加者の検討  
会議内容の整理

平成28年  
障害者差別解消法 施行

高槻市  
障がい者虐待防止・差別解消連絡会議

# 参加メンバー

- ・障がい当事者団体 (※)
- ・障がい福祉事業者団体 (※)
- ・人権擁護委員 (※)
- ・商工会議所 (※)
- ・相談支援専門員
- ・民生委員
- ・支援学校
- ・社会福祉協議会
- ・医師会
- ・警察
- ・行政(保健所、消防、教育、人権関係、等)

(※) 障がい者虐待防止・差別解消  
連絡会議から追加

# 高槻市障がい者虐待防止・差別解消連絡会議

障害者虐待防止法に  
基づく連携協力体制

障害者差別解消法に  
基づく支援地域協議会

## <取組内容>

- 虐待防止及び差別解消に関する取組の情報共有・意見交換等  
(啓発活動等の情報共有など)
- 様々な立場からの具体的事例等に関する意見交換
- 多数の関係機関が集い、「お互いに『顔』の見える関係」によるネットワーク構築
- 自立支援協議会内に設置することによる、同協議会との情報共有・連携

- ・「虐待防止」及び「差別解消」は、障がいの理解促進等の視点で深く関係
- ・「虐待」・「差別」の両方に関連する事案の発生が想定されることから、同じ会議体で意見交換

# ネットワークを活かした取組（抜粋）

## 【連絡会議関連】

### ◆障がい者虐待防止・差別解消にかかる啓発物の作成 配布等の協力

例) 商工会議所…チラシの作成・会報誌への挟み込み  
障がい者団体…啓発物の配布・研修会  
事業所連絡会等…「たかつき〇まるしえ」での啓発

### ◆虐待事案等ケース対応の協力

例) 相談支援事業所、警察、行政各課

## 【連絡会議以外】

### ◆郵便局との包括連携協定に基づく啓発

### ◆市内図書館での展示協力





# 虐待防止の取組を進めるために

- ・虐待に至る背景の分析  
→虐待の認識不足、障がい理解の重要性
- ・「法の理解」と「障がい理解」 どちらも重要  
→市民や事業者、地域への周知啓発  
周知を行う場(手法)のバリエーションが必要

会議(ネットワーク)を活用し、一緒に何か取り組めないかを検討

# まとめ

- 連絡会議参加者の多様な意見を通じた事業展開
- ネットワークを活用した周知啓発・連携の強化